

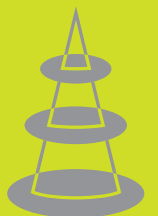
2019

21st

Nagasaki
Cityscape
Awards

あしたの まちは 私がつくる

2019 第21回 長崎市都市景観賞作品集



ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会 委員長
田上 富久

2019 第 21 回長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

長崎市都市景観賞は、長崎らしいまちづくりを進めるため、長崎の歴史的背景と地理的特色を生かし、周囲の町並みや雰囲気に調和した建築物や優れた都市景観の形成に寄与していると認められるものを表彰することにより、市民の都市景観に対する関心を高め、より一層快適な美しい街並みを守り育てていくことを目的として、昭和 62 年に創設されました。選定作品は、どれも「長崎らしさ」が感じられるものであり、これらの作品が、長崎市のまちの魅力や価値を高めるものになると確信しております。今回は、この取組みを市民の皆様のお力もお借りしながら、もっと多くの方々に知っていただくため、募集イベントとして「Instagram 景観写真教室」を開催しました。このような新たな情報発信の取組みにより、応募数は 310 件、市民投票は過去最高となる 650 件の投票をいただきました。市民の皆様により感謝申し上げます。また、市制施行 130 周年を迎えることから、記念事業として「坂みち景観 13 選」を選定いたしました。長崎市は古くから「坂のまち」として有名です。その一方で、石畳等の風情ある坂とその周囲の風景が一体となった長崎らしい坂みち景観は、地域の方々に親しまれながらも多くの市民や観光客に知られていないものが多くあります。この選定を機に、坂みち景観を長崎の新たな魅力として発信していきます。現在、長崎市では、「世界新三大夜景」や「日本新三大夜景」に選定された夜景にさらに磨きをかける取組みを進めています。まち歩きを夜も楽しんでいただくため、歴史的建造物や観光施設等のライトアップとそれらをつなぐ回遊路の街路灯の整備を行っており、これまでに出島、平和公園、東山手・南山手の 3 つのエリアが完成し、2020 年の春には中島川・寺町、西坂・諏訪の森、館内・新地、丸山の 4 つのエリアが完成します。また、稲佐山からみる美しい夜景に新たな「見どころ」や「物語」を加える演出照明が今年の春に完成します。長崎の夜景に新たな楽しみや感動を与えることができるようになります。今後も地域固有の歴史、文化、自然等によって形成された多彩な物語を育む長崎らしい魅力ある景観を守り、育て、活かす様々な取組みを産学官の協働で取り組んでいきたいと考えています。最後になりますが、長崎市都市景観賞が長崎の都市文化向上のための一翼を担うことを祈念しますとともに、本賞の実施にあたり、御協賛、御後援をいただきました企業・団体の皆様、選考委員の皆様、関係各位の皆様の御尽力に、心より厚く感謝申し上げます。



長崎商工会議所 会頭
宮脇 雅俊

「2019 第 21 回長崎市都市景観賞」を受賞されました皆様に心よりお祝い申し上げます。

今回は、310 件の応募がある中、都市景観賞 5 件、奨励賞 6 件が選ばれました。いずれも歴史と文化の街である長崎市に相応しい、すばらしい建物や名所ばかりであると存じます。長崎市都市景観賞は、本所青年部が昭和 60 年に原案となる「長崎市建築文化賞」を企画立案したことがきっかけとなり、昭和 63 年 3 月に第 1 回目となる「長崎市都市景観建築賞」が官民一体となって実施されて以来、今回で 21 回を迎えることとなりました。本事業は、景観はもちろんのこと、長崎の観光資源の掘り起こしや、これまでに培われた歴史、文化などを改めて見直すきっかけにもなっており、長崎の街が持つ魅力を再認識するとともに、調和のとれたまちづくりを促進するうえで重要な役割を担うものになっております。長きにわたり、支えていただいた関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。長崎商工会議所では、地域中小企業の課題解決に向けて、様々な事業に取り組んでいるところですが、なかでも、交流人口の拡大および観光消費拡大は重要な課題であると考えております。長崎は『世界新三大夜景』の一都市として選ばれているほか、2 つの世界遺産を持つ街であり、他の都市には無数多くの観光名所が存在します。長崎市民にとっては見慣れた景観も、域外からの観光客、来街者にとっては、歴史や異国情緒を感じさせるものとなっています。これらの観光資源を大切に保存および活用し、その情報を発信することで、交流人口拡大と観光消費拡大にも繋がるものと考えております。本所としても、長崎の街の魅力を最大限に生かすとともに、効果的な情報発信を行うことで、交流人口拡大と観光消費拡大に繋げていきたいと考えているところです。長崎市都市景観賞が、今後とも景観に対する市民の皆様の理解や関心を高めて、良好な都市景観形成の促進に寄与するものとなり、長崎市がさらに魅力ある街となることを期待しております。最後になりましたが、今回ご協力いただきました方々並びに、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様、選考委員の皆様方へ御礼を申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

選考を終えて



長崎市都市景観賞選考委員会 座長

宮原 和明

「2019 第 21 回 長崎市都市景観賞」を受賞された皆さまに心からお祝い申し上げます。

1988 年、長崎市の魅力ある都市景観を守り育てるために「長崎市都市景観賞条例」制定。これに先立ち 1987 年、将来の都市景観のため良質な建築を奨励する「長崎市都市景観建築賞(現・長崎市都市景観賞)」創設。2005 年には都市・農山漁村等における良好な景観の形成を図る「景観法」施行。市域は 2006 年までに野母崎・三和・香焼・高島・伊王島・外海・琴海の 7 カ町が合併、旧産炭地である端島や池島、そして大村湾を臨む歴史と自然豊かな地域へと広がり、市の努力と共に市民の街並みや景観に関する意識と関心が高まっています。

今回の長崎市都市景観賞も多数の応募があり、以下の11点が高く評価され見事受賞されました。大きな建物部門「Nagasaki Job Port」は、周辺の竹林や山並みと建築エレベーションの親和性やエクステリアとインテリア空間、光環境のデザインが高く評価されました。歴史のある部門「若宮稲荷神社」は、代々の長崎奉行の崇拝を集め、幕末には尊王攘夷を掲げる志士達の多くが参拝した歴史ある神社です。現在は秋の大祭「竹ん芸」の神社として長崎市民にも広く親しまれています。公共施設部門の「出島表門橋・出島表門橋公園」は、構造デザインの粋を集めた風景に消える橋をめざし、公園のキャノピーを含めたウォーターフロント空間が高く評価されました。テーマ部門「HafH Nagasaki SAI」は、築49年の雑居ビルのリノベーションで、住まい、職場、旅先をシェアする空間で構成された新しいライフスタイルの提案と空間が評価されました。同部門「風頭公園の石切り場」は、江戸時代の「眼鏡橋」や諏訪神社「二の鳥居」の石が切り出された長崎市最大の採石場です。市民にあまり知られていないこともあり、歴史をつなぐ賞として評価されました。今回は以下の奨励賞を多く選出しました。奨励賞の小さな建物部門「ごはんCAFE 長崎茶寮川徳」は、現代和風の建築で玄関アプローチには樹木や花々で彩られ背後の森との親和性が良好です。歴史のある部門「長崎銀行本店」は、大正13年ドイツ人設計による洋風建築で大正ロマンを彷彿とさせるデザインで市民に親しまれています。公共施設部門の「鍋冠山公園展望台」は、グラバー園を望む北側に大きく開いた回廊形式で2階2層からなり、緩やかなスロープでつなぐ展望デッキは360度の長崎の街並み景観や夜景を楽しむことができます。屋外広告物部門「長崎の猫雑貨」は、小店の良さを上手に引き出した良質のデザインが評価されました。また「田中旭榮堂」は、老舗の和菓子店でトータルで長崎特有の「和華蘭文化」を表現しているようなデザインが評価されました。奨励賞テーマ部門「市民会館横のいちよう並木道」は、片側13本いちようの高木について、長崎を代表する景観として、四季を通して若葉から紅葉まで市民に親しまれるスポットです。紅葉時には「いちよう並木フェスタ」が開かれる程です。また今回は、市制施行130周年記念事業「坂みち景観13選」が追加されました。歴史や市民に親しまれた「オランダ坂」「祈念坂」「稲佐悟真寺国際墓地にある坂」「幣振坂」「グラバー坂」「諏訪の杜を抜ける坂」おくんちの「長坂」「ドンドン坂」「天満坂」「梅園身代り天満宮に上る坂」「サントス通り」「旧スタイル記念学校裏にある坂」「ピントコ坂」の13カ所が選定されました。今後はこれまでの都市景観賞の歴史や経緯を理解し、官民協働の市民学び合いの場を通して、建物等や町並み、自然景観に対する若い世代の感性も育て、上質な建築文化の醸成・人材育成も重要です。今回の選考委員会委員の皆さまにお礼を申し上げますと共に長崎市都市景観賞が今後更に発展することを願っております。

[選考委員会]

座長

宮原 和明

長崎総合科学大学 名誉教授 | 建築 |

委員

青木 由孝

長崎県屋外広告美術協同組合 副理事長 | 屋外広告 |

安部 清美

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 会長 | 測量設計 |

井上 憲次

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会 長崎支部 副支部長 | 建築 |

岩永 堅之進

長崎市管工業協同組合 理事長 | 設備等 |

田中 健一郎

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 代表 | 建築 |

武藤 剛

一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部 理事 | 建設 |

石橋 知也

長崎大学大学院工学研究科 准教授 | 景観 |

五島 聖子

長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 環境科学領域 教授 | 造園 |

村田 明久

長崎総合科学大学 客員教授 | 建築 |

山崎 加代子

design hehe 代表 | デザイン |



大きな建物部門 Nagasaki Job Port



[選考理由 | 宮原 和明]

知的障害者の就労支援施設で、卸団地のオフィス倉庫群の一角に、周辺の竹林や山並みにとけ込むような心地よい建築である。利用者とスタッフの1日の営みと暮らしの観察から、固有の空間運営とふるまいに即した場づくりをデザインフィードバックしたインテリア空間は見事である。また天窓・光ダクトやハイサイド窓クロスからの自然光のゆらぎが、変化と秩序をもたらすインテリアスケープを生み出している。昼光と考えぬかれた照明環境は省エネでもあり、どの部屋の窓からも日の出から日没までを体感でき、同時に内にいて外にいるような心地良さがある。敷地の北側に竹林、東南側に芝生ひろばを取り囲む2つの山形屋根に包まれたL型プランのエレベーションと程よい大きな窓や出入り口の木製ガラス戸で構成された作業室、休憩コーナーや会議室、食堂、事務室は、明快な動線と相まって質の高い空間と景観を創出している。

所在地／長崎県長崎市田中町 575-2
用途／就労継続支援 B 型事業所
階数／平家建て
構造／鉄骨造
完成年／2018年(平成30年)

[所有者]

社会福祉法人 武正会
長崎県長崎市田中町 575-2

[設計者]

Eureka
埼玉県さいたま市浦和区北浦和 1-21-18-405

[施工者]

大進建設 株式会社
長崎県長崎市樺島町 1-16





歴史のある部門 若宮稲荷神社



[選考理由 | 五島 聖子]

若宮稲荷神社は南北朝時代の忠臣・楠木正成公の守護神である稲荷大神を延宝元年（1673）に現在地に移したのがはじまりと伝えられている。元文元年（1736）に長崎奉行・細井因幡守安明によって参道が開削され、社殿が改築されて以来、代々の長崎奉行の尊崇を集めてきた。後醍醐天皇に最期まで忠義を尽くした楠木正成の守護神を祭っていることから「勤皇神社」とも言われ、幕末には尊王攘夷を掲げる志士たちの多くがこの神社に参拝した。明治元年、社号を「若宮稲荷・次石社」から現在の「伊良林稲荷神社」に改称。社殿は、明治29年（1896）拝殿が建設、大正12年（1923）神饌所・神庫・神符授与所が新設されるが原爆で大きく破壊され、戦後修復されて現在に至る。若宮稲荷神社本殿は岩の上に築かれ、本殿横の手水舎にある手水鉢には背後の苔むした岩から滴り落ちる湧き水が溜められている。また、本殿に続く参道には約70の鳥居が建てられ、長崎奉行が寄進した方形の鳥居や江戸時代から残る石段や石垣を見ることができる。若宮稲荷神社は家内安全・商売繁盛の利益のある神社として長崎市民に親しまれ、毎年10月14日、15日の秋の大祭で男狐、女狐の面をつけた若者が曲芸を行う竹ん芸が奉納される。これは全国各地で行われる消防出初式のはしご乗りの原形とされる、国の選択無形民俗文化財および長崎市の無形民俗文化財に指定されている郷土芸能である。江戸時代からの足跡を残す若宮稲荷神社の景観は、今も息づく長崎の歴史と文化の象徴である。

所在地／長崎県長崎市伊良林2丁目
用途／神社
敷地面積／4,897㎡
完成年／1898年(明治31年)
中島川・寺町地区 景観形成重点地区

[所有者]

若宮稲荷神社

長崎県長崎市伊良林2丁目 10-2





公共施設部門
出島表門橋・出島表門橋公園



[選考理由 | 石橋 知也]

長崎の歴史とまちの未来を文字通り「橋渡し」するプロジェクトが結実した。その主役は出島である。出島は鎖国時代にわが国とヨーロッパとの唯一の接点であり、現在その復元事業が推進されている。出島表門橋は、史跡保護等の条件から出島の対岸側でバランスをとるといふここにしかない構造を有する約 38m の橋であり、設計・運搬・架橋のプロセスは市民に開かれた。細部まで丁寧に仕上げられた造形は人との距離を近づけ、遠景としては出島を引き立てる脇役を演じる。出島表門橋公園は、出島と接続する前広場の役割とウォーターフロントからまちなかを東西につなぐオープンスペースとして機能する、約 3000 m²の公園である。旧護岸線をトレースした空間分節と河川側への地盤の切り下げによって出島への眺望が十分に確保され、橋同様に特徴的なキャノピーやトイレ等がそれを支える。橋、公園ともに 2017 年の完成後も、市民参加のメンテナンス活動が継続される等、まちづくりに波及する新たな公共施設としてのあり方が大きく評価された。

○出島表門橋
所在地/長崎県長崎市出島町 6-1
全長/38.5m
完成年/2017年(平成29年)

○出島表門橋公園
所在地/長崎市江戸町 8-1 他
敷地面積/2,628.38 m²
完成年/2017年(平成29年)

[所有者]
長崎市
長崎県長崎市桜町 2-22

[設計者]
株式会社 オリエントアイエヌジー
長崎県長崎市馬町 55

[施工者]
株式会社 大島造船所
長崎県西海市大島町 1605-1
久保工業 株式会社
長崎県長崎市小浦町 20
株式会社 三基
長崎県長崎市大橋町 22-14

[所有者]
長崎市
長崎県長崎市桜町 2-22

[設計者]
株式会社 オリエントアイエヌジー
長崎県長崎市馬町 55

[施工者]
有限会社 本田緑泉
長崎県長崎市船石町 2667
株式会社 ウエノ
長崎県長崎市宿町 163-6
アイティーエックス 株式会社
長崎県長崎市目覚町 7-14
株式会社 谷川建設
長崎県長崎市岡町 9-1
有限会社 藤勝苑
長崎県長崎市古賀町 601
有限会社 松尾土建
長崎県長崎市小管町 1-37
長崎緑地公園管理事業協同組合
長崎県長崎市松ヶ枝町 3-19
株式会社 竹市建設
長崎県長崎市風頭町 10-32

[施工者]
株式会社 当麻照光園
長崎県長崎市船石町 297
九州ビルド 株式会社
長崎県長崎市田中町 588-2
株式会社 エス・ビー・シー
長崎県長崎市坂本 3 丁目 1-1





テーマ部門
グッドリノベーション賞

HafH Nagasaki SAI



[選考理由 | 田中 健一郎]

本古川町通りの中島川よりに位置する、築 49 年の雑居ビルをリノベーションして「コリビング」という新たな暮らし方を提供する施設である。1 階には「カフェと店舗」、2 階は「コワーキングスペース」、3 階は「コリビング」と建物全体が用途変更されている。通りに面するファサードは開口部を建物内部に引込むことにより街の賑わいが内部に広がり、人とのつながりを大切に、街ゆく人とともに光と風も取り込む空間を創りだしている。開口外部側の壁・天井のステンレス板には人々や光がゆらめき、水墨画のような外壁のテクスチャーを切り抜いている。都会的でありながら落ち着いた空間である「コリビング」の考え方は、住まい、職場、旅先をシェアする先にある新しい概念として提唱されている。リノベーションによって「住む」「働く」「旅する」をひとつの建物にうまく凝縮し、「現代の出島」をキーワードに、その土地の風土を心地よく感じることができる建物に生まれ変わったこの建築は、長崎の古川町に賑わいと美しい環境をもたらすことに評価を得たものである。

所在地／長崎県長崎市古川町 5-21
用途／ホテル、飲食店、物販店舗
階数／地上 4 階
構造／鉄筋コンクリート造
完成年／2019 年 1 月 (平成 31 年)
中島川・寺町地区 景観形成重点地区

[所有者]

株式会社 KabuK Style

長崎県長崎市古川町 5-21

[設計者]

株式会社 百枝優建築設計事務所

福岡県福岡市中央区黒門 6-4-102

[施工者]

有限会社 勇進建設

長崎県長崎市上戸町 1-3-12





テーマ部門
長崎の歴史をつなぐ賞

風頭公園石切り場



[選考理由 | 安部 清美]

風頭公園展望台は、長崎港を一望できる絶景の場所で、春には「ハタ揚げ」や桜の名所である。公園の一角には「坂本龍馬像」その脇には日本写真の開祖と言われる「上野彦馬」のお墓がある。そのような中、都市景観賞に選出されたのが、知る人ぞ知る「石切場跡」である。龍馬像脇の石段を下ると両側に切り立った岩壁、一見「石切場跡」には見えなく自然と溶け込んでいるが、よく見ると安山岩（火山岩の一種）で石を切り取るためのクサビ跡が沢山ある。ここは、江戸時代では長崎市最大の採石場で「眼鏡橋」や諏訪神社の「二の鳥居」の他、史跡や観光地など長崎らしいまちづくりを支えてきた「石」を産出した場所である。当時の切り出し光景を彷彿とさせる。如何にして「眼鏡橋」や「二の鳥居」まで運んだのか、地図を見ると直下の坂道は、「弊振坂」に繋がっている。狭くて急な坂道での運搬は過酷だったであろう。長崎の歴史豊かな景観づくりにつながっている風景が評価された。

所在地／長崎県長崎市伊良林3丁目
中島川・寺町地区 景観形成重点地区

[代表者]
風頭公園景観振興会





小さな建物部門

ごはんCAFE 長崎茶寮川徳



[選考理由 | 井上 憲次]

長崎から江戸へ先人達が歩いた長崎街道、その途中に位置する東長崎に茶寮としてオープンした。茶寮とは、珈琲やお茶が楽しめるカフェのことである。特に女性やお年寄り、子供達に人気が高い。外観は数寄屋風のモダンな現代和風の建築物である。玄関、アプローチへは樹木や花々で彩られ、庭を通過して離れの茶室へ向かうような幻想を抱く。店内は木の床板で色々なパターンの客室があり、変化にとんでいる。パーティーが出来る個室があり、窓をオープンにすると、庭と一体となり、やわらかな光と風を感じることができる。店内の壁、天井には数寄屋造りの技法をとどころところに見ることができる。畳敷きの和室も3室あり蘭草(いぐさ)の香りを感じ障子の和を感じることができる。この3室も一体として使うことができ、宴会を楽しむことができる。一つ屋根の下で変化に飛んだ空間を味わうことができ、日本の文化を感じ、心が癒される建物である。

所在地／長崎県長崎市田中町 280-15
用途／飲食店
階数／平家建て
構造／鉄骨造
完成年／2016年4月(平成28年)

[所有者]

有限会社 川徳
長崎県長崎市田中町 280-1

[設計者・施工者]

株式会社 浜松建設
長崎県諫早市森山町唐比北 341-1





歴史のある部門
長崎銀行本店



[選考理由 | 岩永 堅之進]

長崎銀行本店の社屋は、市民会館前の電車通り沿いの栄町にある。長崎市は江戸時代には西洋との唯一の貿易港として繁栄し、明治時代から昭和期にかけて、我が国の産業発展に寄与した。幹線道路が整備され、又、長崎電気軌道が市内主要道路を網羅するにつれて栄町も電車の線路沿いに道路が拡張され、一帯は主に商業地域として栄えた。その沿線に、この社屋が位置するのだが、当時から洋風建造物のデザインは衆目を集めた。大正元年、長崎貯金(株)として設立され、その後、変遷し(株)長崎銀行となるが、社屋は大正13年4月に中国山東省青島高等女学校(ドイツ人設計による)の校舎を元に設計、現地に新築されたもので、現在95年が経過している。建物は3階建て、一部石造りで大正ロマンを彷彿とさせるデザインである。角地のファザードには美しいステンドグラスが装飾され、行内は円形のガラス張りのエントランス、さらに円柱が立ち並ぶ。長崎の電車と社屋が並んで見える風景は長崎の近代化を示す証しとして評価できる。

所在地/長崎県長崎市栄町3-14
用途/銀行
階数/地上3階建て
構造/鉄筋コンクリート造
完成年/1924年(大正13年)

[所有者]
株式会社 長崎銀行
長崎県長崎市栄町3-14





公共施設部門
鍋冠山公園展望台



[選考理由 | 武藤 剛]

2012年10月、世界新三大夜景として香港、モナコとともに選ばれた長崎市。その魅力は、すり鉢状の地形が生み出す立体的な夜景、名所として知られる稲佐山をはじめとして、北東部から夜景とともに稲佐山・女神大橋をバックに楽しめる立山地区、北部から長崎港にかけて広く見渡せる風頭公園など、多方向からの俯瞰的な夜景の美しさにある。その中の代表的な視点場の1つである鍋冠山公園展望台は、グラバー園を望む北側に大きく開いた回廊形式の展望場所を提供している。回廊を構成する展望デッキは1、2階の2層からなり、その間を緩やかなスロープでつなぐなどユニバーサルデザインにも配慮がなされている。2層構造ゆえに1階は、雨天時でも夜景を楽しむことができる。緩やかにカーブする回廊の延長を活かし見ることができる様々な視点場からの風景は、夜景のみならず、昼の長崎のまちなみ景観も楽しむことができるなど、広く親しまれている。長崎における都市インフラ整備のランドマーク的存在と言える。

所在地／長崎県長崎市出雲2丁目
用途／展望台
構造／鉄筋コンクリート造
完成年／2016年(平成28年)
東山手・南山手地区 景観形成重点地区

[所有者]

長崎市
長崎県長崎市桜町2-22

[設計者]

株式会社 宮本建築設計事務所
長崎県長崎市扇町31-8

[施工者]

株式会社 池田建築工業
長崎県長崎市富士見町2-13





屋外広告物部門
長崎の猫雑貨



[選考理由 | 山崎 加代子]

眼鏡橋から電車通りの方に歩いてくると、黄色いフラッグが目に入る。手前には長崎大神宮という名の小さな神社。ちょっと先には石造りを外観に残した長崎銀行。その前を路面電車が行き交う。まちづくりでは、サインの立ち位置がとても大事だ。残念ながら長崎には、そのスポットだけの見て見てアピールサインがまだまだ多い。そんな中でこの店が心地いいのは、ハード・ソフト面で関わったデザイナーやスタッフたちが、小店の良さを上手に引き出しているからだろう。インパクトのある黄色いフラッグや壁面の使い方はデザイン性に優れており、昔の面影を残したこの通りの風景を決して損なっていない。さまざまな猫グッズが所狭しと置かれている店内は、ドア越しに見てもそそられる。定番商品である猫おみくじは、地元の人だけではなく観光客にも人気で、店内には明るい笑い声が響く。新しさをうまく古さの中に取り入れたら、後は人と時間がまちの魅力と佇いをつくっていく。いい連携プレーがここにもあった。

所在地／長崎県長崎市栄町 6-7
材質／サイン：アクリル板（つや消しマット）
フラッグ：ターポリン
完成年／2016年（平成28年）
中島川・寺町地区 景観形成重点地区

[所有者・設計者]

有限会社 ホップ
長崎県長崎市銀屋町 2-5 丸福ビル 205

[施工者]

プレスアート
長崎県長崎市白木町 3-14 若杉ビル 1 階





屋外広告物部門
田中旭榮堂



[選考理由 | 青木 由孝]

創業明治 31 年の老舗和菓子店「田中旭榮堂」。長崎くんちの庭見せでおなじみの栗饅頭専門店。当時の饅頭というのは蒸したものが殆どで、オーブンで焼き上げたこちらの栗饅頭は和菓子でありながら洋菓子のテイストも入っているとのこと。屋外広告物は、入口上部の看板は和風の伝統的な金箔文字の彫刻看板であるが、袖看板は和モダンな造作に青銅色を用いており、壁面は格子で栗の意匠をあしらっているがその色は茶色ではなく中国をイメージさせる朱赤が配色されている。トータルで長崎特有の「和華蘭文化」を表現しているように見える。袖看板は通常凝った造作はしないのだが、こちらの袖看板は上部には屋根、下部には土台をあしらっており、南山手の洋館を彷彿とさせる青銅色で塗装されていて特に秀逸である。

所在地／長崎県長崎市上町 3-6
材 質／縦格子：溶融亜鉛メッキ銅板
袖看板：ステンレス
正面看板：けやき
完 成 年／2015 年 (平成 27 年)

[所有者]
有限会社 田中旭榮堂
長崎県長崎市上町 3-6

[設計者・施工者]
武藤建設 株式会社
長崎県長崎市浜口町 14-10





テーマ部門
街の顔となる街路樹賞

市民会館横のいちよう並木道



[選考理由 | 五島 聖子]

この銀杏は、市民会館が建設された昭和47年に植樹されたと考えられる。管理に関する記録が残されていないので、その理由は明らかでないが、長崎市内で例外的に強剪定を免れた片側13本からなる街路樹である。長崎市内の街路樹は、概して高さを約5mで抑えられ、秋になると枝が殆ど切り落とされるのに対して、長崎市民会館横の銀杏は、高く伸びることが許され、自然な成長が許された枝も残されてきた。その結果、約30mの立派な成木となった。ここでは紅葉の季節になると「いちよう並木フェスタ」と呼ばれるイベントが開催され、「いちよう並木市」が建てられる。長崎市紅葉名所13スポットにも選ばれ、紅葉の時期に限って、黄色い通りを歩きに来る長崎市民も少なくない。建造物によるものではないが、長崎を代表する景観である。残念なことは、現在の植樹ますと金属製保護蓋は成長した銀杏に小さすぎ、根上がりと保護蓋の幹食込みが認められることである。歩道の通行障害だけではなく樹木の不朽が懸念される。ちなみに東京の明治神宮外苑の146本からなる銀杏並木は樹齢100年を超えている。長崎の顔となる景観を維持するために早急な対策が望まれる。

所在地／長崎県長崎市桶屋町ほか
中島川・寺町地区 景観形成重点地区

[代表者]
一般社団法人 長崎青年会議所



坂みち景観 13 選 | 長崎市都市景観賞年表 | 受賞作品 | 受賞作品一覧表 | MAP



坂みち景観 13 選：市制施行 130 周年を記念して、「坂のまち長崎」の魅力を顕在化するため、坂みち周囲の景観が一体となった優れた 13 の坂みちを選定しました。



オランダ坂（東山手町）／東山手・南山手地区 景観形成重点地区

1858 年（安政 5）の日米修好通商条約で日本が開国して長崎が開港場の一つとなった時、大浦の商業埋立が行われ、背後の東山手に最初の坂みちが造られた。借地人会の記録に「丘沿いの道に容易に上される 2 本の坂道を建設するようにする。一つは教会への道で上手に舗装すること」とあるので、大浦海岸通りから山手への坂みちを 2 本造ってみちを循環させたのであろう。すなわち、活水下の坂と誠孝院下の 2 本の坂みちである。活水学院への坂みちはプロシャ領事館を契機に造られたのであろう。このように商業地と居住地をつなげたり、教会に礼拝に行く、車で行ける坂みちを初めて見た長崎人は、従来型の石段の上り坂に対して、新しくオランダ坂と呼んだのである。商業地と住居地を分けたり、歩道と車道の構成、丘の住まいの景観に配慮する等の坂みちによる町づくりで、概して画一的な造成でなく、斜面や丘を有効に使い、港の景観や、建物や崖の高さや構成にまで注意が払われた。



祈念坂（南山手町）／東山手・南山手地区 景観形成重点地区

大浦天主堂の東脇に沿う細長く急な石畳坂。かつての南山手居留地のはずれの一角で、入口辺りは、教会、寺院、神社が隣り合う珍しいスペースである。中でも妙行寺には最初の英国領事館が置かれた。上り始めの場所は初めての人は迷うが、道が分かると、人通りのない静かな雰囲気、進むにつれて、いかにも長崎らしい坂の魅力が伝わってくる。大きな天主堂側壁の白壁やステンドグラスの細部まで見え、足元の石畳や石溝、石標はそのまま残り、S 字金具の付いたレンガ塀を見やりながら振り向くと、天主堂の尖塔や屋根の建物の遠近感のはるか彼方の町や港の景観とマッチして絵のような景色である。途中の廃墟は平成初めまで夫妻が住まわれていた住宅の跡。上段にたどり着くと、石造洋館のレストハウス、港の見える公園が整備されている。谷向こうは、山にひしめきあうような長崎の住居群の向こうに、東山手の洋館、さらに市街地の大きな港景観が望める。



グラバー坂（南山手町）／東山手・南山手地区 景観形成重点地区

グラバー坂は、南山手 1 番乙の大浦天主堂、同 3 番のグラバー邸の建物を中心に、幕末明治の長崎近代化に大きな影響を与えた人たちが往来した坂みちで、洋館や人物にまつわる様々な歴史が刻まれてきた。土産物店がならぶ大浦天主堂前の上り坂は、振り返ると今も旧香港上海銀行長崎支店の建築越しに港景観が望める。1974 年（昭和 49）にグラバー園が開園、天主堂の高さに対するホテルの高さが景観を損なう恐れがあるとして問題になった。洋館が失われて洋館保存運動がはじまり、これは旧香港上海銀行長崎支店の現地保存となり実を結び、坂の途中のウォーカー邸も移築保存され町並み保存センターとなる。そして、東山手・南山手一帯は伝統的建造物群保存地区指定され、地区の洋館が保存整備された。グラバー邸から港が見える景観は、周辺建物の高さ整備に役立てられた。現在では世界遺産関連でグラバー邸が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産、大浦天主堂が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産になっている。



ドンドン坂（南山手町）／東山手・南山手地区 景観形成重点地区

横長に大きい赤煉瓦のマリア園のすぐ隣りにある、南山手奥の 16 番・17 番と 21 番・22 番の間を抜ける急な坂みちで、文字通り窓を開けば港が見える洋館が立ち並ぶ。南山手の洋館の屋根越しに長崎港が横たわり、坂みちは港に直交するので、坂みちの眺めは下につれ港が徐々にアップで大きく迫る。対岸の造船所、カンチレバークレーン、行き交う船舶の音も聞こえ、稲佐山、女神大橋まで見渡せる。二人並んで歩けるほどの道幅なのも良く、ドンドン景色が展開するからか、あるいは坂みちに降る雨水がドンドン流れて大丈夫なのか、坂の名の由来はよくわからないが面白い。確かに、降った雨水が早く溝に吐ける様、敷石が斜めに目地切りされ、上段は三角溝、下段は平溝で早く多量に流し、隙間なく天川しっくい丁寧に固めてあるので歩きやすい。異国情緒の風情が変わっていく中、居留地時代の石畳の坂みちがしっかりとした姿で残されているのは貴重である。



旧スタイル記念学校裏にある坂（南山手町）※

／東山手・南山手地区 景観形成重点地区

南山手奥の紅葉邸脇から上りグラバー園第二ゲートに至る、ゆるやかに車で蛇行できる上り坂である。現在はグラバー園の外郭道路の一部で、旧スタイル記念学校の建物裏側が楽しめる。デンマーク国立博物館蔵の居留地図で確かめると、この坂は現在のオルト邸の建つ南山手 14 番地所に相当し、坂みちは下の主要道から上段の邸へまっすぐ上り敷地周りを上って入るオルト邸へのアプローチ路であったことがわかる。グラバー園創設に際し旧スタイル記念学校の移設事業で、道が切り離されたらしい。元の路面は舗装されて残っていないが、残されたルートをたどると、大樹が生い茂り、木陰みちもある。道すがら、木立の間に港と対岸の造船所の景色が見渡せる快適な景観が広がり、初期居留地の茶取引で活躍した貿易商人オルトのマイホームへの道のり感覚が味わえる。ここは普段でも人影が少ない、当時を偲んで静かに散策を楽しんだり、また南山手の反対側に出る散策路として適している。



幣振坂（寺町ほか）／中島川・寺町地区 景観形成重点地区

幣振坂には、男風頭山に上る皓台寺と大音寺の間、延命寺と長照寺の間、女風頭山に上る東本願寺横の坂が同名で呼ばれる。「長崎名勝図絵」によると、延命寺と長照寺の間の坂を幣振坂とし、長崎氏が幣を振って士卒を指揮した所、あるいは1638年（寛永15）に諏訪社の大鳥居建立の際、郷民2千人が石を曳いたが重くて動かないので、一人が幣を振って鼓舞したところ、ようやく動かすことができた。幣を振ったのがヘイフリと訛ったという。江戸初期の新町建設のため神社や石橋などの石を切り出した姿を思い浮かべせる。選定した皓台寺と大音寺の間の坂みちは、皓台寺の古びた石塀と寺院の壁、大音寺の墓地が両側に長く続き心地良い。しだいに樹々が茂り急坂となるが、振りかえると、寺院建築の大屋根の構成がいくつも眺められる。山頂までは石段と墓地が延々と続き、山頂近くには安山岩の石切り場が今も残されている。



諏訪の杜を抜ける坂（上西山町ほか）※

日本銀行長崎支店横から市長崎中学校まで上がる途中、長崎公園や諏訪神社の神域を何度もS字に蛇行する坂みちで、ここには樹齢700～800年という大クス群が自生する。諏訪の杜の斜面をゆく車道の真中に、大きなクスのご神木がいくつも林立しているのが特徴的で、車の運転は注意が必要だが、坂みちを上り下りする時に与える印象の度合いは相当に大きい。この坂は六角道ともいわれるが、その由来は、六角をした東屋があるからとか、道が六つに折れ曲るからとかあるが、よくわからない。江戸期は安禅寺があったが明治の廃仏毀釈で廃寺になり、その大半が1874年（明治7）に長崎最初の公園（諏訪公園）となった。坂の途中には図書館、博物館や体育館が集まり、明治期に教育文化的な核が形成されたところである。中央には東照宮神社が再興され古くが偲ばれる。六角道は、江戸期から近代初頭の長崎が繁栄著しい頃の寺院や教育文化の場に触れながら、大クス群の樹叢から市内や港の景色が楽しめる。



長坂（上西山町）

諏訪神社参道を行くと社殿の前に踊り馬場と長坂、長坂正面に舞台の石畳が敷かれている。長坂は73段もの長い石段で、幅は6メートルほどで両側に石塀が立つ。長崎くんちの時には、石段は奉納踊りの見物席として無料開放され、幅30センチほどの路面にキチキチに坐り合う。長坂の両側には棧敷が何段にも組み立てられる。石崎融思の「長崎古今集覧名勝図絵」でも、この舞台設定で、唐人やオランダ人の白テント屋根が階段状に立ち上がっている。奉納踊りの掛け声も中央の長坂から秋空にこだましたのだろう。くんちの晴れ舞台の前後、おくだり（渡御）、おのぼり（還御）の時にはこの石段を飛ぶように下り上りするのである。普段は静々と上り下りし、眼下に広がる町家、山並みの景観を楽しんで神社をあとにする。このように、普段はそれぞれの行事のお参りだが、祭りの奉納踊りの時になると長坂を軸にして舞台がつくられ人々と町が一体になる。長坂は長崎の伝統的な坂みち文化を代表する場所である。



天満坂（万才町ほか）

天満坂は丘上の万才町と下の賑町を結ぶ石段の坂みちで、ビジネス街の市民らが行き来する馴染み深い通りである。かなりの高低差にかかわらず大変上り下りし易いのに驚く。路面には積年の踏み跡のクボミがあるが、ていねいに造られてびくともしていない。しかも両側の石垣積みは反りの大きい特徴的な造形がみられ、長崎の坂みちの中で最も古いものに属する。長崎名勝図絵によると、大音寺坂の名で、1616年（元和2）に本博多町の南蛮寺跡地（ミゼリコルディア）を幕府が伝書に賜り大音寺を創立した時の遺址とあるので、戦国時代の遺構として貴重である。ミゼリコルディアは日本人キリシタン・ジュスティーノと妻による慈善事業本部の慈悲屋で、禁教令の下で最後まで残された。1638年（寛永15）大音寺は今の鍛冶屋町に移転するが、跡地には坂上天満宮が建てられ原爆被災して下に移るまで長く存続した。1701年（元禄13）に深堀義士騒動があったりと、ここは幾多の歴史を刻む。



梅園身代り天満宮に上る坂（丸山町）※

丸山町の石畳坂に建つ格子戸の丸山検番の建物脇から入ると、石畳敷きのやや上り坂となり、花月の長い裏塀や風情のある意匠の建物が連続する。みちの階段上に梅園身代り天満宮、さらに上段にまわり込むと中の茶屋がある。幕末期の長崎ぶらぶら節で知られた「遊びに行くなら花月か中の茶屋 梅園裏門たたいて丸山ぶらぶら」の一節はこの坂みちのことだろう。丸山遊郭を闊歩した人たちの情景を感じさせる。中の茶屋とは、梅園社の裏側の寄合町筑後屋が営んだ有名な茶屋である。千代の宿、千歳窩（せんざいわ）は別名で、文人墨客が好んで通い、長崎奉行の丸山巡見の際には休憩所にあてられた。建物は1971年（昭和46）に類焼したが旧態に復元して茶屋が付され、庭は江戸中期の代表的名園の一つである。地区は迷路状で、中の茶屋への坂みちは、ほかに寄合町、中小島、電車通り側からもアクセスできる。正覚寺の墓地沿いに小路の階段を上って行く坂みちも風情があってよい。



稲佐悟真寺国際墓地にある坂（曙町）※

悟真寺は1598年（慶長3）に開基された長崎に現存する最古の寺院で、1602年（慶長7）に唐人墓が最初につくられた。稲佐山のふもとの悟真寺境内に設けられた国際墓地の入口には古い祭場石壇が据えられ、蓮池を石橋で渡り墓域に入る。墓域は基壇ごとにレンガ塀で区画され、赤いレンガ塀で区画された階段状の坂みちが中を貫いて、樹林の中を段々に立ち上がる様が美しい。このレンガ塀の階段状の坂みちを登ると港町の風景が広がる。道の所々に入口門があり、墓域はそれぞれ緑の地の中に石棺、石碑が並び樹々が空に茂り、ロシア正教会の小さな礼拝堂も建つ。異人墓はオランダ、ロシア、中国の三国に区分され、中国人墓地の一隅にはアメリカ、フランス、プロシヤ、ユダヤ、インド人の墓も入り混じる。代々の住職により守られた民間の国際墓地で、日中親善で墓地清掃が行われている。古くからの長崎の国際性を示す得がたい坂みちである。



ピントコ坂（上小島2丁目ほか）

旧茂木街道にあたる上小島の墓域から県立南高正門下まで700メートルほどの長い坂みちのこと。墓地域が小高い丘に点在し、沿道に祠、碑が宅地と隣り合い、そこを縫うように車が一台通れるくらいの道幅で丘に連担する家々をつなぐ様は、坂の町長崎を彷彿とさせる。このまん中辺りに傾城塚（けいせいづか）がある。傾城とは遊女のことである。1690年（元禄3）年、唐人・何旻徳（か・びんとく）が処刑された亡骸を遊女阿登倭（おとわ）が故郷に見えるこの地に埋葬し自害したという。この名前の旻徳（びんとく）が訛ったとも、「びんどこ」とは石ころのデコボコ坂の意など諸説ある。またライオンの塔という1712年（正徳2）に大流行した天然痘の犠牲者の供養塔もある。お盆の時になると坂の両脇のお墓より矢火矢の音や線香の香りがただよう情景が広がる。坂を下りる時は、沿道の石垣、遺物や家並みがうねり、近くの墓石と遠くの市街地ビルが重なり、両側の緑の山並みが市街地を囲む、遠近感のある立体的な景色は見応えがある。



サントス通り（上野町ほか）／平和公園地区 景観形成重点地区

サントス通りは、浦上川の大橋交差点から入り、坂みちは上がったり下がったりして如己堂や中国領事館を経て、しだいに下りながら浦上天主堂にいたる。一帯は浦上川流域にあって、平和公園の丘をはじめとした幾筋もの山裾を道が横切り、起伏に富んだ地形を形成する。このため沿道両側に植えられた長崎の木のナンキンハゼは、刻々と樹々の枝ぶりが重なり上下し、歩いたり車窓からの景観が印象的で、秋には紅葉が美しい。とりわけ、浦上天主堂への下り坂は、石垣の積層や緑の植え込み、双塔やバラ窓のある天主堂建築の大きい景観を見せる。サントス通りは、ポルトガルによって開かれた港町のブラジルのサントス市が長崎の姉妹都市であることにちなんで1977年（昭和52）に名付けられた。この坂みちはまた、戦後の長崎国際文化都市建設により原爆後に復興されたみちの一つで、浦上川の大橋やその支流が天主堂下を流れる橋をつなぎ、歩行者に親しみやすい国際的な坂みちである。

※通称・俗称が定まっていない坂については、坂道周辺にある建造物・工作物等を名称に加えて記載しています。

長崎市都市景観賞年表

回	年度	賞名	実行委員長	選考委員会座長	募集期間	応募総数	案件数	選考対象数	景観賞	奨励賞	表彰式	記念講演講師
1	1987	都市景観建築賞	本島 等	石野 治	昭和62年 10月15日～ 11月30日	139	88	73	5	—	昭和63年3月4日(金) 長崎商工会館2階ホール	藤森 照信 氏 東京大学生産技術研究所助教/工学博士
2	1989	都市景観建築賞	本島 等	石野 治	平成元年 9月1日～ 10月31日	210	102	66	5	—	平成2年3月16日(土) 長崎商工会館2階ホール	美川 淳而 氏 九州芸術工科大学環境設計学科教授
3	1991	都市景観賞	本島 等	石野 治	平成3年 5月15日～ 6月29日	170	99	69	2	3	平成3年10月4日(日) 長崎商工会館2階ホール	両角 光男 氏 熊本大学工学部建築学科教授
4	1992	都市景観賞	本島 等	石野 治	平成4年 10月1日～ 11月17日	77	40	35	3	1	平成5年2月27日(土) 長崎商工会館2階ホール	毛綱 毅曠 氏 ㈱毛綱毅曠建築事務所代表取締役
5	1993	都市景観賞	本島 等	石野 治	平成5年 10月1日～ 10月20日	64	42	36	3	1	平成6年2月23日(水) 長崎商工会館2階ホール	講演なし
6	1994	都市景観賞	本島 等	宮川 密義	平成6年 9月1日～ 9月20日	63	42	29	0	2	平成7年3月1日(水) 長崎商工会館2階ホール	講演なし
7	1995	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成7年 9月14日～ 10月23日	106	52	40	3	1	平成8年3月1日(金) 長崎商工会館2階ホール	ジェフリー・チャールズ・ガン 氏 長崎大学経済学部教授
8	1996	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成8年 9月17日～ 10月31日	69	54	43	3	2	平成9年3月28日(金) 長崎商工会館2階ホール	伊藤 一長 長崎市長
9	1997	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成9年 9月16日～ 10月31日	92	58	41	3	2	平成10年3月31日(火) 長崎商工会館2階ホール	浦口 醇二 氏 ㈱かいアソシエーツ代表取締役
10	1998	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成10年 7月1日～ 8月31日	259	146	95	2	5	平成11年1月20日(水) 長崎商工会館2階ホール	延藤 安弘 氏 千葉大学工学部都市環境システム学科教授
11	1999	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成11年 8月1日～ 9月30日	167	128	96	2	1	平成12年1月26日(水) 長崎商工会館2階ホール	篠原 修 氏 東京大学工学部教授
12	2001	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成13年 8月1日～ 9月28日	268	121	100	3	3	平成14年1月29日(火) 長崎商工会館2階ホール	[第1部] スライド映写会 ◎昭和40年度の長崎風景 ◎現在の長崎風景 [第2部] 記念講演 東松 照明 氏 写真家
13	2003	都市景観賞	伊藤 一長	宮原 和明	平成15年 8月1日～ 9月30日	170	50	50	3	2	平成16年1月30日(金) 長崎商工会館2階ホール	山頭 範之 氏 写真家
14	2005	都市景観賞	伊藤 一長	宮原 和明	平成17年 8月1日～ 9月30日	134	80	58	3	3	平成18年2月10日(金) 長崎商工会館2階ホール	樋口 明彦 氏 九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門教授
15	2007	都市景観賞	田上 富久	岡林 敏孝	平成19年 9月1日～ 10月31日	138	95	69	4	0	平成20年3月19日(水) 長崎県美術館ホール	縛手 真人 氏 新日本三大夜景・夜景100選事務局代表
16	2009	都市景観賞	田上 富久	岡林 敏孝	平成21年 8月3日～ 9月30日	382	181	147	4	1	平成22年2月5日(金) 長崎ブリックホール 国際会議場	中島 誠之助 氏 古美術鑑定家・戸栗美術館理事
17	2011	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成23年 8月1日～ 9月15日	276	180	168	3	3	平成24年2月14日(土・祝) 長崎大学中部講堂	安藤 忠雄 氏 建築家
18	2013	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成25年 8月15日～ 9月30日	186	116	109	3	2	平成26年2月15日(土) 長崎県美術館ホール	西村 浩 氏 建築家/ワークビジョンズ代表
19	2015	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成27年 9月1日～ 10月16日	263	221	173	6	4	平成28年2月14日(日) 長崎大学医学部良順会館	[第1部] 基調講演 高尾 志忠 氏 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授 長崎市長観音門監 [第2部] パネルディスカッション 宮原 和明 氏 (コーディネーター) 長崎市長観音選考委員会座長 高尾 志忠 氏 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授/長崎市長観音門監 吉田 茂視 氏 ㈱メモリード代表取締役社長 坂本 英史 氏 ㈱原研吾建築都市設計事務所設計室長 野島 洋 氏 ㈱光洋会野島眼科醫院理事 吉岡 正知 氏 工房吉岡代表 深堀 暢師 氏 浦上天主堂再現プロジェクト実行委員会委員長
20	2017	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成29年 9月1日～ 10月16日	376	245	216	4	5	平成30年2月18日(日) 長崎商工会館2階ホール	[第1部] 記念講演 ブライアン・パークガフニ 氏 長崎総合科学大学教授 [第2部] パネルディスカッション 宮原 和明 氏 (コーディネーター) 長崎市長観音選考委員会座長 井口 琢朗 氏 ㈱日本設計九州支社建築設計部主管 佐々木 翔 氏 ㈱INTERMEDIA 取締役 ブライアン・パークガフニ 氏 長崎総合科学大学教授
21	2019	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	令和元年 8月16日～ 9月30日	310	160	152	5	6	令和2年2月29日(土) 長崎商工会館2階ホール	[第1部] 記念講演 山野 勝 氏 日本振興学会会長 [第2部] パネルディスカッション 宮原 和明 氏 (コーディネーター) 長崎市長観音選考委員会座長 山野 勝 氏 日本振興学会会長 新田 悟朗 氏 認定NPO法人空き家再生プロジェクト専務理事 山口 広助 氏 長崎歴史文化協会理事 渡邊 竜一 氏 ㈱ネイ&パートナーズジャパン 代表取締役 佐野 哲史 氏 Eureka 共同主宰
合計						3919	2300	1865	69	47		

第1回 → 第20回 長崎都市景観賞受賞作品



1987年 活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館



1987年 (旧) カロムビル



1987年 フォーレ三原台



1987年 松翁軒



1987年 中華門



1989年 活水学院楠光寮



1989年 小ヶ倉公営住宅



1989年 シーボルト記念館



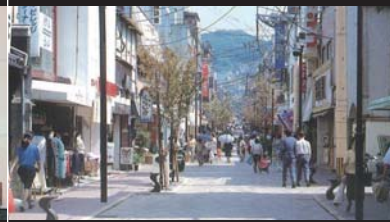
1989年 蜷茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱



1989年 山里小学校



1991年 (旧) 川口鼈甲店



1991年 シーボルト通り



1992年 海星修道院・海星学園図書館



1992年 (旧) 矢上小学校現川分校



1992年 小ヶ倉水園 (小ヶ倉浄水場内)



1993年 (旧) 金子建設本社ビル



1993年 湊公園



1993年 県営大橋団地・市営若葉団地



1995年 長崎電気ビル



1995年 常岡歯科診療所



1995年 龍馬のぶーつ



1996年 三宅脳神経外科医院



1996年 岩永梅寿軒



1996年 販町パーキングセンター



1997年 長崎市科学館



1997年 深堀の石塀群



1997年 宝製網



1998年 福砂屋本店



1998年 (旧) 児童養護施設マリア園



1999年 長崎平和記念教会



1999年 (旧) 料亭 富貴樓



2001年 小野原本店



2001年 長崎大学経済学部瓊林会館



2001年 どんどん坂



2003年 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館



2003年 長崎総合科学大学人間環境学部棟



2003年 福砂屋松が枝店



2005年 長崎県美術館



2005年 ビストロ・ピエ・ド・ポー



2005年 (旧) 増田邸



2007年 親和銀行大波止支店



2007年 BAR 猪ノ口屋



2007年 文明堂総本店



2007年 寺町通り



2009年 長崎市立図書館



2009年 長崎大学医学部良順会館



2009年 料亭 一カ



2009年 大中尾棚田



2011年 長崎港松が枝国際ターミナルビル



2011年 三菱重工工業長崎造船所史料館



2011年 古賀植木の里



2013年 ANAテレマート長崎支店



2013年 占勝閣



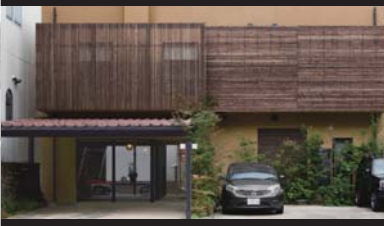
2013年 料亭 青柳



2013年 長崎水辺の森公園



2015年 ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート



2015年 野島歯科醫院



2015年 鎮西大社 諏訪神社



2015年 女神大橋



2015年 つりがね堂薬局サイン



2015年 浦上天主堂再現プロジェクト



2017年 済生会長崎病院



2017年 あたご保育園



2017年 カトリック黒崎教会

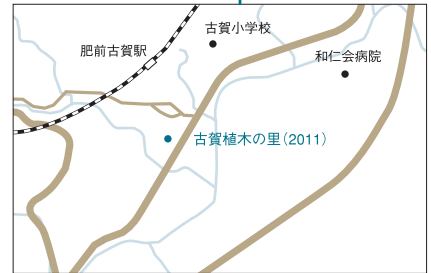


2017年 十八銀行本店

第1回 → 第20回 長崎都市景観賞受賞作品一覧表

年度	種別	作品名	所在地
1987 第1回 昭和62年度 [5件]	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号
		(旧) カロムビル	浜町3番19号
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号
		松翁軒	魚の町3番19号
		中華門	新地町
1989 第2回 平成元年度 [5件]	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤモンド4丁目9番・10番
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号
		蚩茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目
		山里小学校	橋口町20番56号
1991 第3回 平成3年度 [5件]	都市景観賞	(旧) 川口鼈甲店	浜町7番13号
		シーボルト通り	新大工町
	奨励賞	(旧) 長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号
		(旧) 泉写真館	川口町6番24号
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号
1992 第4回 平成4年度 [4件]	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号
		(旧) 矢上小学校現川分校	現川町1912番地
		小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号
	奨励賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)
1993 第5回 平成5年度 [4件]	都市景観賞	(旧) 金子建設本社ビル	松山町9番18号
		湊公園	新地町7番
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
	奨励賞	(旧) 復元唐船 飛帆	—
1994 第6回 平成6年度 [2件]	奨励賞	長崎県立総合体育館	油木町7番1号
		長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号
1995 第7回 平成7年度 [4件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎電気ビル	城山町3番19号
		[歴史のある部門] 常岡歯科診療所	油屋町2番18号
		[テーマ部門: 歴史ロマン賞] 龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番
	奨励賞	[小さな建物部門] (旧) 林兼石油浦上給油所	松山町4番41号
1996 第8回 平成8年度 [5件]	都市景観賞	[小さな建物部門] 三宅脳神経外科医院	若草町3番21号
		[歴史のある部門] 岩永梅寿軒	諏訪町7番1号
		[テーマ部門: 建築エコアップ賞] 賑町パーキングセンター	栄町5番5号
	奨励賞	[大きな建物部門] 長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目
		[テーマ部門: 四季プロムナード賞] 文教通り	文教町、大橋町
1997 第9回 平成9年度 [5件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎市科学館	油木町7番2号
		[歴史のある部門] 深堀の石堀群	深堀地区
		[歴史のある部門] 宝製綱	小管根町1番39号
	奨励賞	[小さな建物部門] 高野眼科医院	平野町10番3号
		[テーマ部門: ベイサイドシンボル賞] 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	飽の浦町1番1号
1998 第10回 平成10年度 [7件]	都市景観賞	[歴史のある部門] 福砂屋本店	船大工町3番1号
		[歴史のある部門] (旧) 児童養護施設マリア園	南山手町12番17号
	奨励賞	[大きな建物部門] ホテルモンテ長崎	大浦町1番22号
		[小さな建物部門] 岩永邸	小江原4丁目18番3号
		[小さな建物部門] 白髭内科医院	片淵1丁目35番18号
		[テーマ部門: 四季プロムナード賞] サントス通り	上野町、橋口町、岡町
		[テーマ部門: 自然賞] 善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長
1999 第11回 平成11年度 [3件]	都市景観賞	[小さな建物部門] 長崎平和記念教会	富士見町21番14号
		[歴史のある部門] (旧) 料亭 富貴楼	上西山町5番4号
	奨励賞	[テーマ部門: プロムナード賞] 崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町
2001 第12回 平成13年度 [6件]	都市景観賞	[歴史のある部門] 小野原本店	築町3番23号
		[歴史のある部門] 長崎大学経済学部瓊林会館	片淵4丁目2番1号
		[テーマ部門: さかみち部門] どんどん坂	南山手町
	奨励賞	[大きな建物部門] 慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号
		[大きな建物部門] 九州電力新地変電所	新地町6番10号
		[大きな建物部門] 長崎出島ワーフ	出島町1番1号

年度	種別	作品名	所在地
2003 第13回 平成15年度 [5件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号
		[テーマ部門：建築リニューアール賞] 長崎総合科学大学人間環境学部棟	宿町3番地1
		[テーマ部門：街角ディスプレイ賞] 福砂屋松が枝店	松が枝町2番43号
	奨励賞	[大きな建物部門] 長崎ペンギン水族館	宿町3番地16
[小さな建物部門] 八幡町公民館		八幡町3番9号	
2005 第14回 平成17年度 [6件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎県美術館	出島町2番1号
		[小さな建物部門] ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号
		[歴史のある部門] (旧) 増田邸	片淵2丁目18番18号
	奨励賞	[大きな建物部門] 斜行エレベーター	上田町、相生町
[テーマ部門：動く風景賞] 超低床電車		—	
[テーマ部門：赤煉瓦塀のあるプロムナード賞] 三菱通り	飽の浦町1番1号		
2007 第15回 平成19年度 [4件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 親和銀行大波止支店	五島町4番16号
		[小さな建物部門] BAR 猪ノ口屋	栄町4番11号
		[歴史のある部門] 文明堂総本店	江戸町1番1号
		[テーマ部門：鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞] 寺町通り	寺町
2009 第16回 平成21年度 [5件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎市立図書館	興善町1番1号
		[小さな建物部門] 長崎大学医学部良順会館	坂本1丁目12番4号
		[歴史のある部門] 料亭 一力	諏訪町8番20号
		[テーマ部門：四季折々の表情が美しい田園景観賞] 大中尾棚田	神浦下大中尾町
	奨励賞	[大きな建物部門] カトリック西町教会	音無町9番34号
2011 第17回 平成23年度 [6件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎港松が枝国際ターミナルビル	松が枝町7番16号
		[歴史のある部門] 三菱重工業長崎造船所史料館	飽の浦町1番1号
		[テーマ部門：伝統ある植木業が創り上げた文化的景観賞] 古賀植木の里	松原町
	奨励賞	[小さな建物部門] 文明堂総本店浜町店	浜町8番27号
		[歴史のある部門] 陶々亭	十人町9番4号
[テーマ部門：地域の誇りは四季の花に囲まれた風景賞] 琴海戸根川と桜	琴海戸根町		
2013 第18回 平成25年度 [6件]	都市景観賞	[大きな建物部門] ANA テレマート長崎支店	神ノ島町1丁目331番90号
		[歴史のある部門] 占勝閣	飽の浦町1番1号
		[歴史のある部門] 料亭 青柳	丸山町7番21号
		[テーマ部門：市民の憩う水辺の公園賞] 長崎水辺の森公園	常盤町
	奨励賞	[歴史のある部門] 吉宗本店	浜町8番9号
[テーマ部門：長崎の海を見守りつつける賞] 海の上に立つマリア像と神ノ島教会	神ノ島町2丁目148番		
2015 第19回 平成27年度 [9件]	都市景観賞	[大きな建物部門] ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート	秋月町2番3号
		[小さな建物部門] 野島歯科醫院	古川町6番27号
		[歴史のある部門] 鎮西大社 諏訪神社	上山山町18番15号
		[公共施設部門] 女神大橋	木鉢町から戸町
		[野外広告物部門] つりがね堂薬局サイン	新地町11番11号
	[テーマ部門：歴史を語り続ける賞] 浦上天主堂再現プロジェクト	本尾町1番79号	
	奨励賞	[屋外広告物部門] コクラヤネオンアーチサイン	万屋町1番26号
		[野外広告物部門] 中の家旗店サイン	鍛冶屋町1番11号
[テーマ部門：官民協働によるまちづくり賞] ししとき川通り		古川町から鍛冶屋町	
2017 第20回 平成29年度 [9件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 済生会長崎病院	片淵2丁目5番1号
		[小さな建物部門] あたご保育園	愛宕4丁目19番11号
		[歴史のある部門] カトリック黒崎教会	上黒崎町26番
		[夜間景観部門：第20回記念] 十八銀行本店	銅座町1番11号
	奨励賞	[屋外広告物部門] 梅月堂本店	浜町7番3号
		[屋外広告物部門] 松翁軒観光通り店	万屋町5番6号
		[夜間景観部門：第20回記念] 稲佐山電波塔	稲佐町364番地ほか
		[テーマ部門：公共交通のデザイン賞] 長崎電気軌道310号「みなと」	大橋町4番5号
[テーマ部門：地域連携のまちづくり賞] 伊良林1丁目の路地	伊良林1丁目		





長崎市都市景観賞は、自然環境を活かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練されたまちづくりに寄与する建築物などに贈られる賞です。

このトロフィーのフォルムは「炎」であり、都市景観賞が、私たちの愛する長崎の文化を守り育てるための「灯り」となることを願ったものです。また、ガラスに封印されたコバルトブルーは、大航海時代から続いている「開港都市としての長崎」を象徴する海の色を表現しています。



長崎市都市景観賞 Symbolmark

3個の楕円は「海」と「まち」と「空」。自然と人間の営みがそれぞれに呼応しながら、長崎市の都市景観が未来へ向けて広がり高まっていくさまを、シンプルなフォルムで表現しています。

[表彰実行委員会]

委員長

田上 富久 | 長崎市長 |

副委員長

山口 雅二 | 長崎商工会議所 副会頭 |

委員

上滝 満 | 一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部 支部長 |

佐々木 信明 | 公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 会長 |

山内 洋介 | 西部ガス株式会社 常務執行役員長崎地区支配人 |

中野 善弘 | 一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部 支部長 |

岩永 堅之進 | 長崎市管工業協同組合 理事長 |

小林 純一 | 長崎電気工業協同組合 理事長 |

安部 清美 | 一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 会長 |

井上 憲次 | 一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部 副支部長 |

山口 克彦 | 公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部 支部長 |

青木 由孝 | 長崎県屋外広告美術協同組合 副理事長 |

谷川 喜一 | 長崎商工会議所 建設部会長 |

片江 伸一郎 | 長崎市 まちづくり部長 |

監事

松永 安市 | 長崎商工会議所 専務理事 |

小林 央幸 | 長崎商工会議所青年部 会長 |

長崎市

長崎商工会議所青年部

一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会

西部ガス 株式会社

一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部

長崎市管工業協同組合

長崎電気工業協同組合

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部

長崎県屋外広告美術協同組合

[協賛]

(株) 赤瀬建設

曙産業 (株)

(株) 有馬建築設計事務所

(株) アルス

(株) NDKCOM

(株) 大島造船所

おきアセットマネジメント合同会社

(有) かどや産業

(株) 建友社設計

(株) 西海建設

(株) 三建設総合事務所

(株) 三エ電機

(株) 霜田塗料産業

(株) シンエイ

(株) 親和土建

図考房椿

大進建設 (株)

(有) 田鳥建設

鎮西大社 諏訪神社

(株) T I D 設計

(有) 鉄川進 一級建築士事務所

TOTO (株)

(有) 戸田組

(株) 長崎スカイホテル

長崎電気軌道 (株)

(株) 長崎土建工業所

長崎バスグループ

(株) 日東建設

(一社) 日本塗装工業会 長崎県支部

(株) 梅月堂

(株) P A L 構造

バンブー・二級建築士事務所

(株) ヘック

堀田建設 (株)

(株) 松本美建

(株) メモリード

(有) 百田建築設計事務所

雄建設 (株)

(株) ライト建築設計事務所

(株) L I X I L

(有) ワイズ

和信化学工業 (株) 九州事業所

[後援]

NHK 長崎放送局

NBC 長崎放送

KTN テレビ長崎

NCC 長崎文化放送

N I B 長崎国際テレビ

NCM 長崎ケーブルメディア

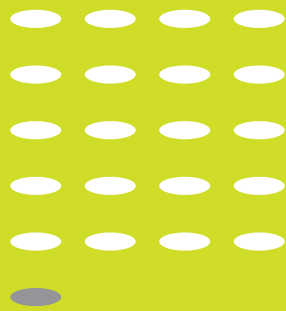
エフエム長崎

長崎新聞社

ながさきプレス

[協力]

(株) みらい長崎



長崎市都市景観賞表彰実行委員会